



川口まさやは、
水問題解決に全力を尽します

取手市のほぼ全域が浸水と予測=ハザードマップ

大きな被害をもたらすゲリラ豪雨は年々確実に増え続けています。予測できないこの豪雨による被害は、川に囲まれ、軟弱地盤、地盤沈下を抱えるこの地域にとって決して他人ごとでは済まされません。取手市は堤防が決壊したら台地を除いてほぼ全域が2m～5m以上浸水すると予測されています。

※取手市が全戸に配布した防災マップをご覧ください。

水害から命と財産を守る 洪水対策

- ①利根川堤防のスーパー化
- ②小貝川牛久沼八間掘川の堤防強化

利根川は利根町の栄橋付近で急に川巾が狭くなり洪水時にはダムの働きをして上下流の落差が1mにもなります。そのため利根川の水は小貝川に逆流するのです。

小貝川は常磐線鉄橋まで利根川並の整備が進んでいますが上流は未完成です。逆流地点の櫛木地点まで早急に整備しなければなりません。利根川は沿岸沿いに常総台地が広がって自然堤防となっていますが、相野谷川排水機場のある吉田地先だけが平地です。ここのスーパー堤防化を急がねばなりません。

昭和61年の豪雨は私たちの近くの街で容赦なく命と財産をのみこみました



待ってはくれない雨水の脅威 排水対策

- ①排水機場の大改修
- ②大規模調整池の新設



取手市に降った雨水は相野谷川・西浦川・北浦川、大夫落排水路の4本の内水河川で利根川と小貝川に排水されます。しかし、これらの河川はいずれも完全ではありません。特に大雨時に強制排水する戸田井排水機場・新川第二排水機場の改修を急がなければなりません。常磐線下の河川工事が莫大な経費と難工事の為行き詰っていますが、上流に調整池を作る事を提案し整備を促進させます。

～川口まさやプロフィール～

- 川口政弥(かわぐちまさや) 昭和32年6月25日つくば市生
- ・日本大学法学部卒業
- ・川口自動車(株)代表取締役
- ・取手市藤代商工会理事
- ・社団法人龍ヶ崎法人会理事
- ・元取手市六郷小学校PTA会長
- ・藤代ギャラリー代表
- ・ネパール教育支援基金代表
- ・藤代ロータリークラブ所属
- ・県政改革フォーラム代表
- ・文化活動応援団団長
- ・第3回東南アジア青年の船参加

身長：176cm・体重 68 kg
趣味：旅行・読書
血液型：A
星座：蟹座
家族：母・妻・子供2人
特技：英会話



川口まさや後援会事務所
〒300-1535 取手市清水947-1

電話 0297-83-3617 FAX 0297-83-3641
http://kawaguchimasaya.com
mail:info@kawaguchimasaya.com

討議資料 後援会員募集中、詳しくは上記へご連絡ください。

あなたの家は大丈夫？

取手市洪水避難地図 (利根川洪水ハザードマップ)

この地図は、利根川が大雨によってはん濫した際に、住民の皆さんの避難に役立つように作成しました。
 浸水の範囲は、国土交通省が発表した利根川が200年に1回程度起こる大雨で3日間で316mmの雨が流域に降った場合（昭和22年のカスリーン台風時と同程度）を想定しています。
 最大規模の雨が流域に降った場合を想定しており、いざという時に備えて、あなたの家から避難場所までの経路や家族の連絡先などを書き込んでおきましょう。
 なお、地図に示した浸水区域以外の場所でも、河川の増水や土地利用の変化などで浸水することがありますので、注意してください。

取手市は300mmを越える豪雨があった場合
 ■ の地域以外は2m～5m以上の水深が起こればと国交省は想定しています



屋根の上に取り残された人を救出
 昭和61年の雨はまたたく間に民家に浸水し、逃げ遅れた人たちはボートで避難しました

死者	4人
負傷者	14人
全壊・流失	7棟
浸水	13,863棟
農業被害	約116億円
(茨城県)	

昭和61年8月に起こった豪雨は明野町・石下町(当時)で堤防が決壊し、大きな被害を引き起こしました



このとき山王地先の堤防が越水し決壊寸前だったのです



昭和25年大留地先の決壊による六郷小学校付近の被害状況

